

「平和祈念事業」の実施報告について

1 日時

２０２６年８月６日（木）～８月１１日（火・祝）

2 会場

生涯学習センター６階・７階

3 参加者数

１，１１９人（２０２５年度９６８人、２０２４年度５５０人）

4 実施概要

戦後８１年が経過し、原爆や空襲を受けたことのある方々の高齢化によりその体験を語り継ぐことが年々難しくなっている中、当時を知る方から直接話を聞くという貴重な機会をつくることができました。

また、市民団体の協力を得て紙芝居や朗読劇の形で戦争体験の継承を行うとともに、大学生に朗読へ参加してもらうことで若者にも戦争について考える機会となりました。

今年度は「８１年前の戦争を振り返り、今の平和を考える」をテーマとし、戦時中の様子や兵器製造に携わった少女たちの想いなど過去の戦争について広く触れることができる展示の他、現在起きている戦争について考えるきっかけとなるよう「お菓子作りで知るウクライナ・平和への祈り」などを行いました。

参加者からは、「知ることの大切さを思った。若い人に聞いてもらいたい。」「戦争は絶対に起こしてはならない。改めて声をあげていきたい。」「風船爆弾が結果的に本土決戦・原爆にまでつながっていたという戦争の実態がわかり、衝撃を受けた。」などの感想が寄せられました。

5 企画展

展覧会名	観覧者数
(１) 一枚のハガキ展	３７人
(２) 市内小中学校絵手紙作品展	３９人
(３) 戦時資料展	３９３人
(４) サダコと折り鶴ポスター展	—
(５) 兵器「風船爆弾」とは	２６３人
(６) 東京大空襲の記憶	

6 講座

講座名	来場者数
(1)【小学3年生以上向け】広島原爆の紙芝居&お話	23人
(2)【中学生以上向け】語り継ぐ広島原爆の実相「被爆体験を語り継ぐ、受け継ぐということ」	56人
(3)【小学3年生以上向け】風船爆弾を作った少女たちの思い	52人
(4)【小学3年生以上向け】お菓子作りで知るウクライナ・平和への祈り（親子参加）	20人
(5)【小学3年生以上向け】被爆体験の継承・長崎銭座小学校の取組み	24人
(6)【中学生以上向け】語り継ぐ長崎原爆の実相&朗読劇	46人
(7)【中学生以上向け】あほうどりのちかくで かあちゃんの尖閣諸島遭難記	87人
(8)映画「丸木位里 丸木俊 沖縄戦の図 全14部」上映	39人
(9)【共催事業】平和トーク～あなたにとって平和ってななに～	40人

7 報道

7月18日の武相新聞に掲載されたほか、読売新聞、アサココ、タウンニュース、町田ジャーナルに掲載されました。またケーブルTV・イツコム「地モトNEWS」内で8月6日に放映されました。

8 当日の様子

【企画展】



(1) 一枚のハガキ展



(2) 市内小中学校絵手紙作品展



(3) 戦時資料展



(4) サダコと折り鶴ポスター展



(5) 兵器「風船爆弾」とは



(6) 東京大空襲の記憶

【講座】



(1) 広島原爆の絵本&お話



(2) 語り継ぐ広島原爆の実相



(3) 風船爆弾を作った
少女たちの想い



(4) お菓子作りで知る
ウクライナ・平和への祈り



(5) 被爆体験の継承・
長崎銭座小学校の取組み



(6) 語り継ぐ長崎原爆の
実相&朗読劇



(7) あほうどりのちかくで
かあちゃんの尖閣諸島遭難記



(9) 平和トーク～あなた
にとって平和ってなあに～

※『(8) 映画「丸木位里丸木俊 沖縄戦の図 全14部」上映』は、
映画上映のため写真を撮影していません。